



株式会社前田製作所

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月21日

証券コード 6281

目次

1. 連結経営成績
2. 連結財務状態
3. 連結キャッシュ・フロー状況
4. 配当の状況
5. トピックス
6. 今後の見通し

1.連結経営成績

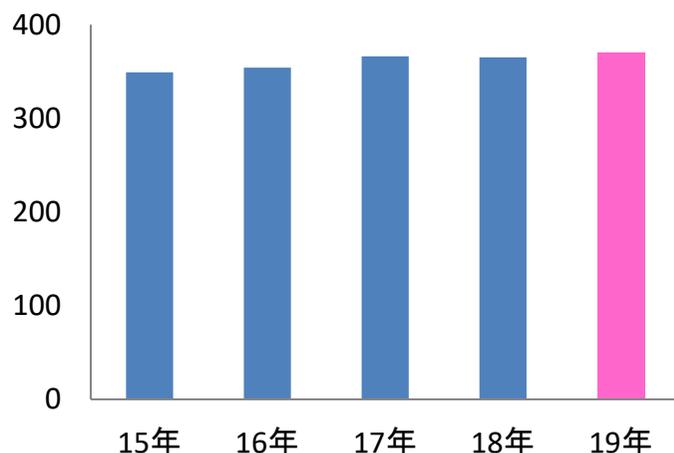
(単位:百万円)	前期 2018年度	当期 2019年度	前期比増減 (増減率)
売上高	36,505	37,046	541 (1.5%)
売上総利益	6,945	7,236	290 (4.2%)
販売管理費	5,256	5,383	126 (2.4%)
営業利益	1,689	1,853	163 (9.7%)
経常利益	1,753	1,932	178 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	942	1,277	334 (35.5%)

※百万円未満切り捨て

1. 連結経営成績（推移）

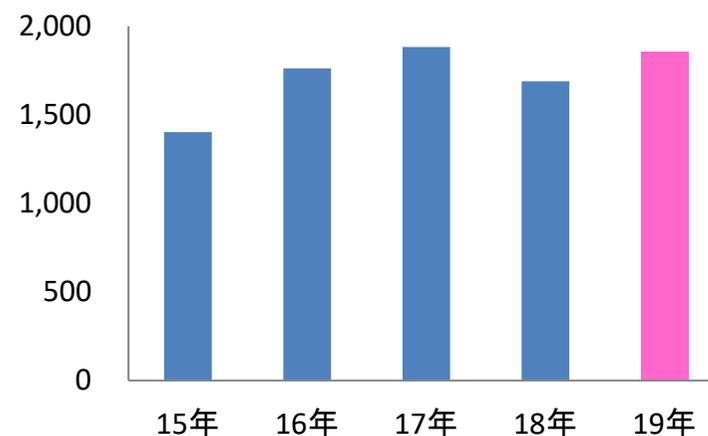
■ 売上高

（億円）



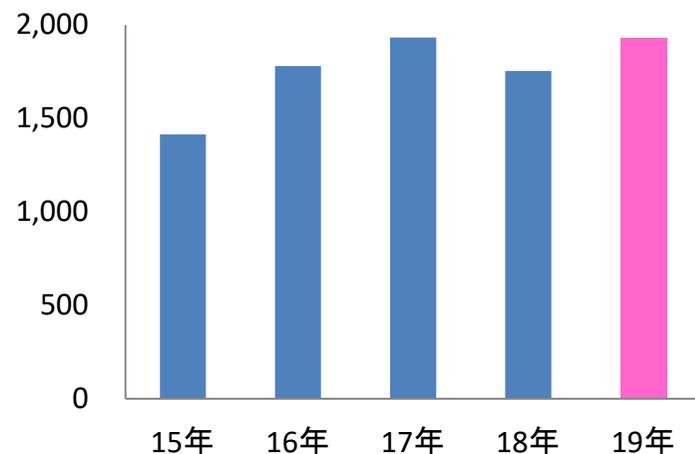
■ 営業利益

（百万円）



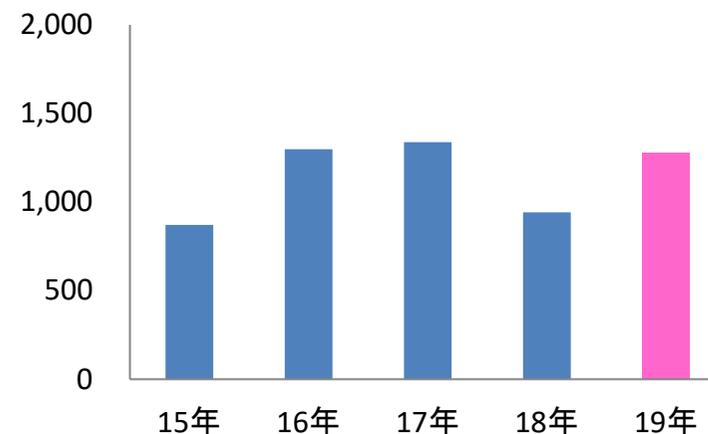
■ 経常利益

（百万円）



■ 当期純利益

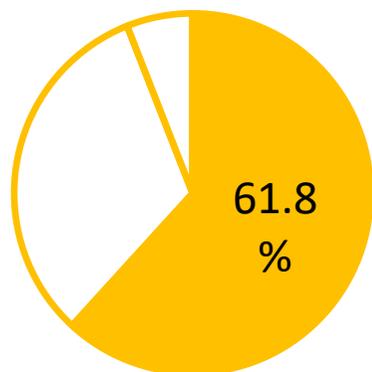
（百万円）



1. 連結経営成績（セグメント別売上高）

建設機械関連事業

売上高構成比



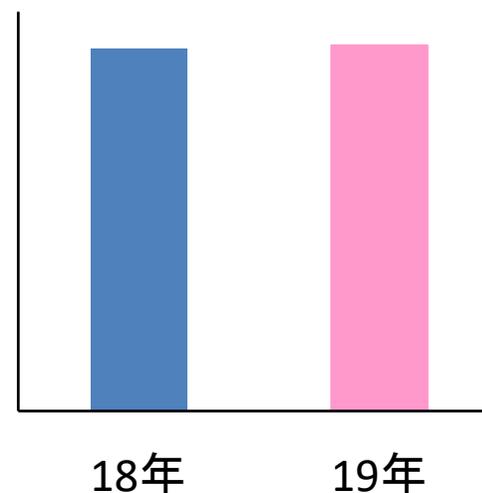
当期

売上高
22,891百万円
(前期比:0.8% up)



(百万円)
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0

売上高



建機商品

新車販売が増加
(前期比:2.1% up)



建機レンタル

一般機が減少もICT関連が増加
(前期比:0.4% down)



建機サービス

ほぼ前年並みで推移
(前期比:1.0% down)

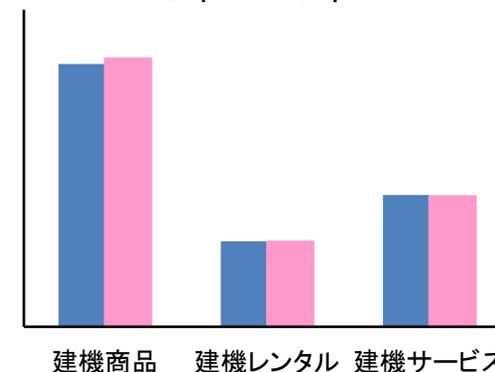


セグメント別売上高

(百万円)

15,000
10,000
5,000
0

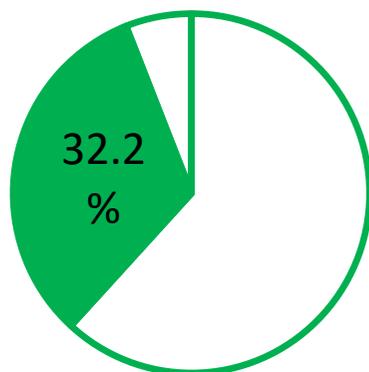
■ 18年 ■ 19年



1. 連結経営成績（セグメント別売上高）

産業・鉄構機械等関連事業

売上高構成比



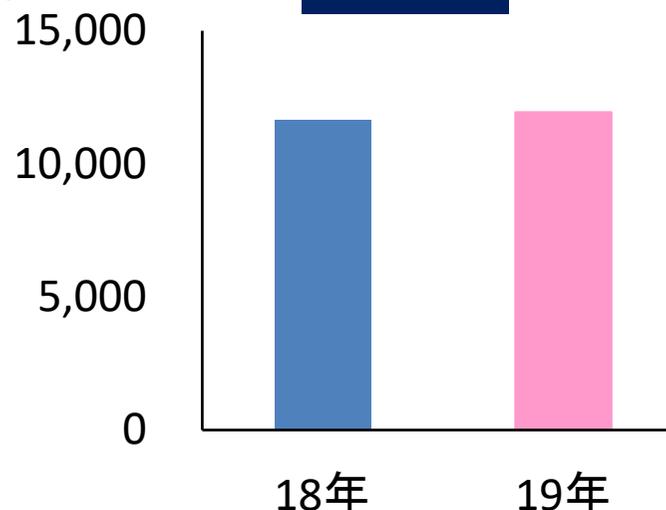
当期

売上高
11,939百万円
(前期比: 2.6% up)



(百万円)
15,000

売上高



産機製品

主力製品のクレーンが増加
(前期比: 6.1% up)



鉄構製品

シールド・IT関連設備が減少
(前期比: 6.9% down)

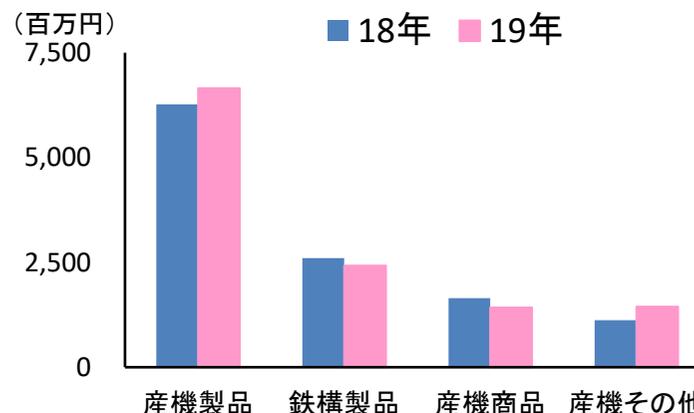


産機商品

高所作業車が減少
(前期比: 13.5% down)



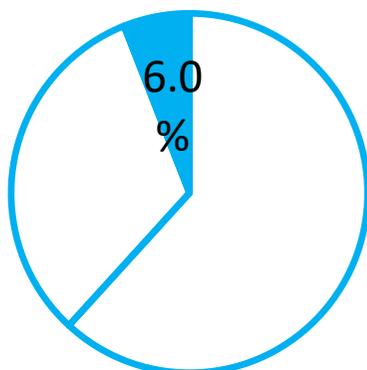
セグメント別売上高



1. 連結経営成績（セグメント別売上高）

介護用品関連事業・その他

売上高構成比



当期

売上高

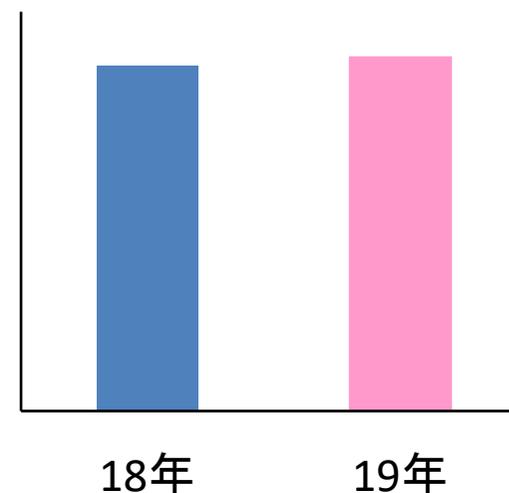
2,215百万円

(前期比:2.4% up)



(百万円)
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

売上高



介護用品

マーケットシェアの獲得により増加
(前期比:5.2% up)

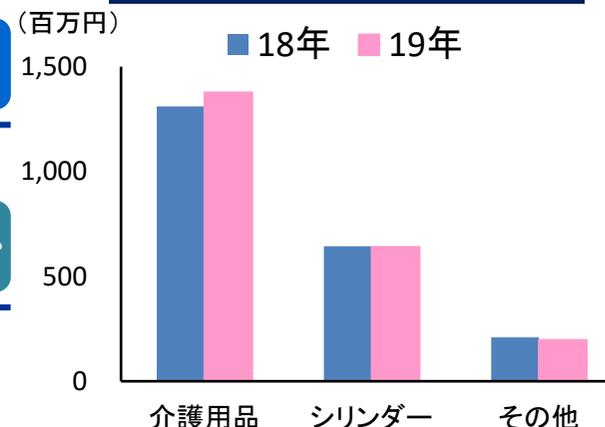


シリンダー 製造事業

ほぼ前年並みで推移
(前期比:0.4% down)



セグメント別売上高



※「その他」には、MAS、技術本部を含む

1. 連結経営成績（子会社の経営状況）

マエダオールサポート

（単位：百万円）

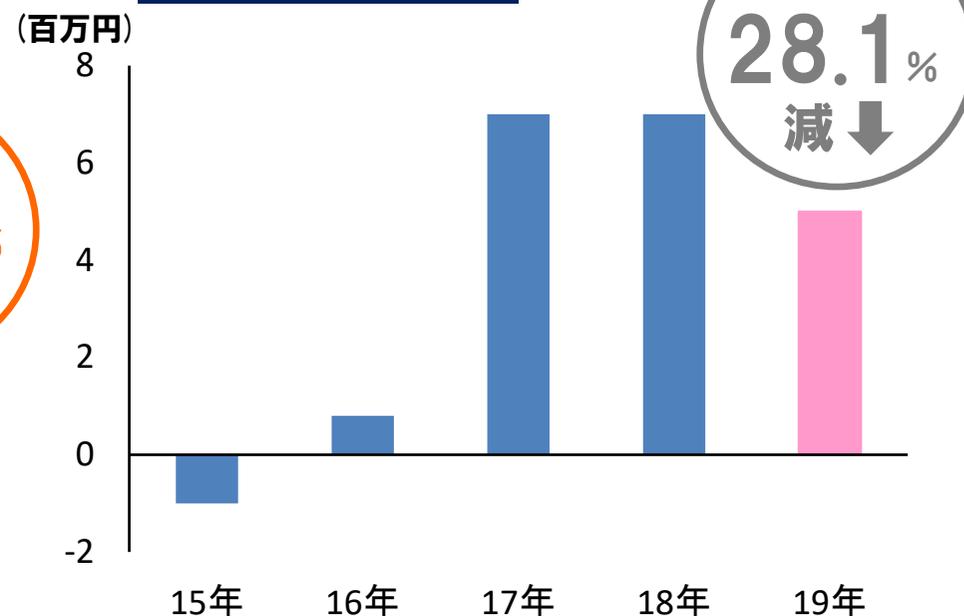
区分	売上高	営業利益	経常利益
前期	167	7	7
当期	195	5	5



売上高の推移



営業利益の推移



1. 連結経営成績（子会社の経営状況）

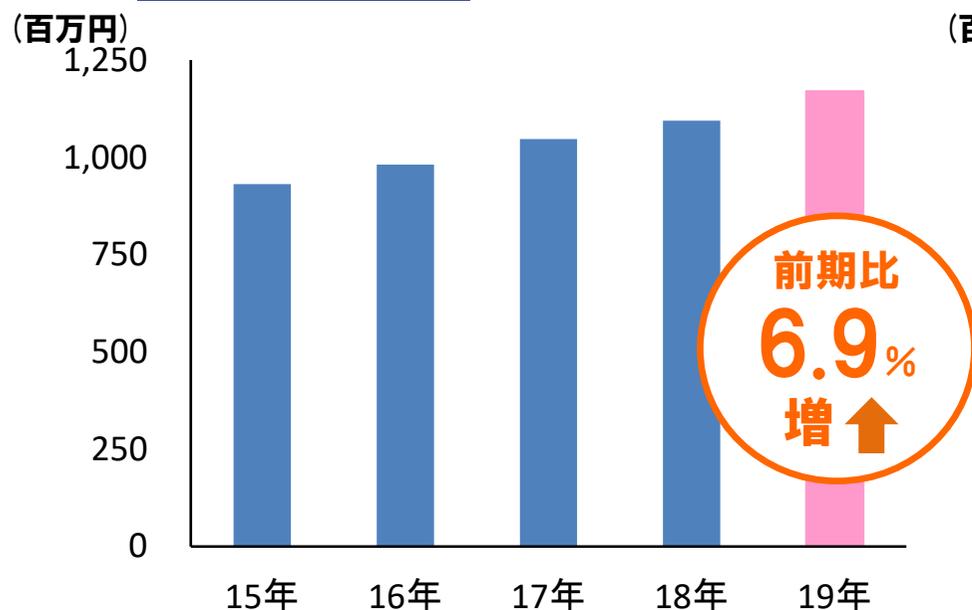
ネオックス

（単位：百万円）

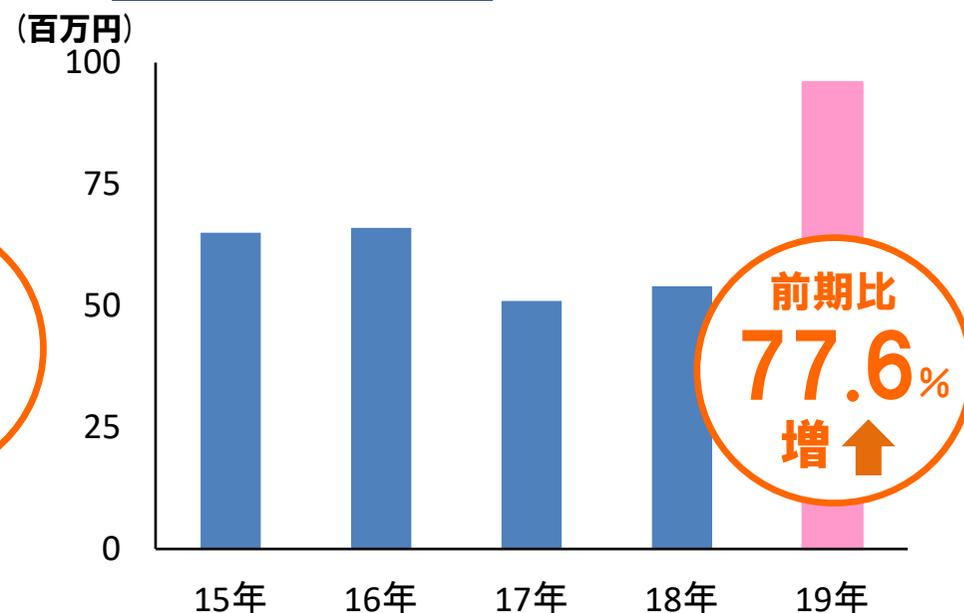
区分	売上高	営業利益	経常利益
前期	1,094	54	45
当期	1,170	96	91



売上高の推移



営業利益の推移



1. 連結経営成績（子会社の経営状況）

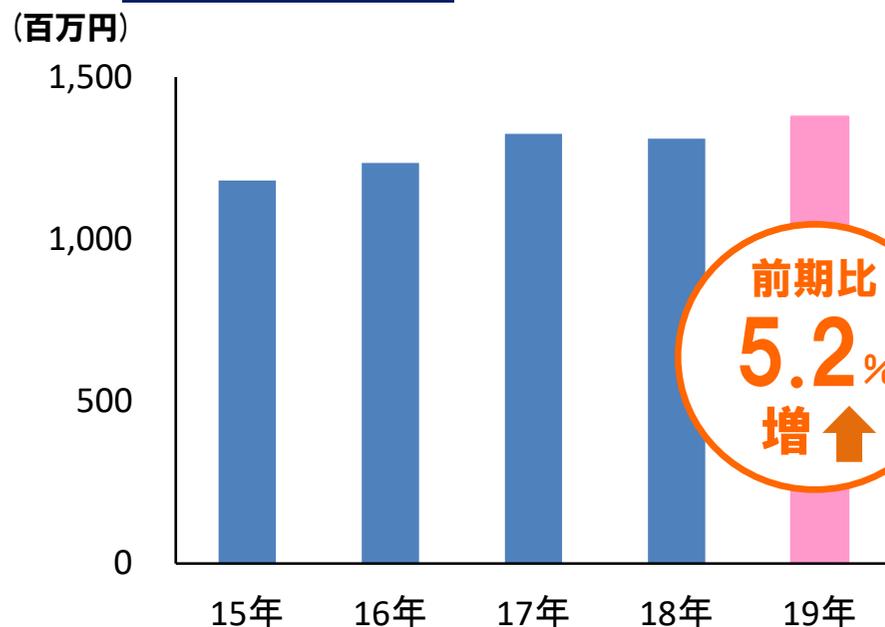
サンネットワークマエダ

（単位：百万円）

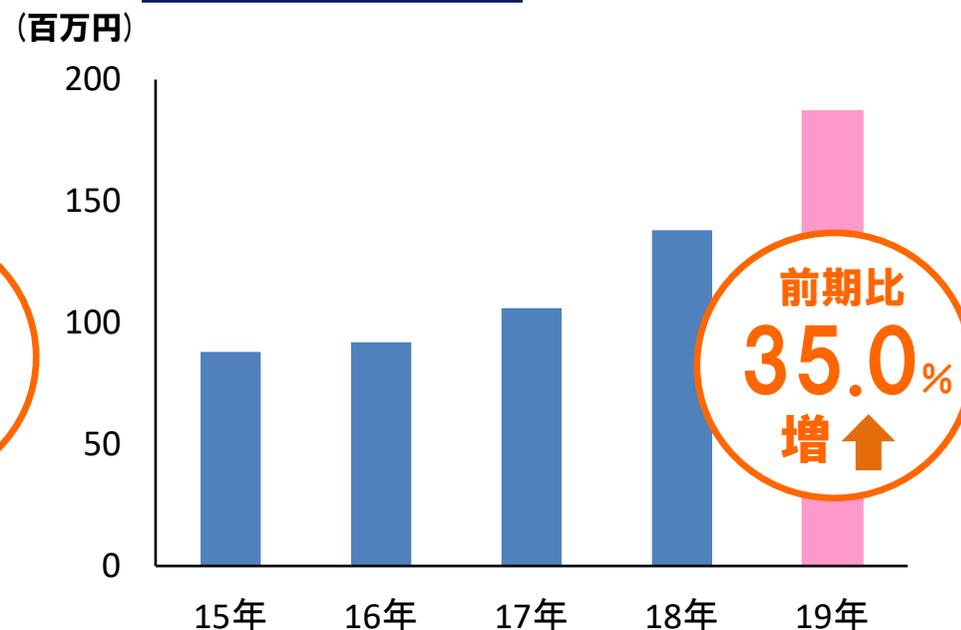
区分	売上高	営業利益	経常利益
前期	1,310	138	126
当期	1,378	187	180



売上高の推移



営業利益の推移



2.連結財務状態

(単位:百万円)

	前 期 (2019年3月31日)	当 期 (2020年3月31日)	比較増減 (前期)
資産合計	31,372	29,431	▲1,941
(流動資産)	18,898	17,423	▲1,475
(固定資産)	12,474	12,008	▲466
負債合計	19,882	17,302	▲2,580
(流動負債)	14,342	12,399	▲1,943
(固定負債)	5,539	4,902	▲636
純資産合計	11,490	12,129	638

※百万円未満切り捨て

3.連結キャッシュ・フロー状況

(単位:百万円)

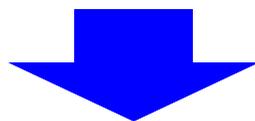
	前 期 2018年度	当 期 2019年度	比較増減 (前期)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,711	2,453	▲1,257
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,855	▲1,782	73
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,009	▲1,402	▲392
現金及び現金同等物の 期末残高	5,968	5,235	▲732

※百万円未満切り捨て

4.配当の状況

●配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元のため、建設投資の動向に左右されない企業体質を実現することを重要な課題として掲げ、配当につきましては業績に応じて行うことを基本としたうえで、配当性向と内部留保充実による企業体質強化を勘案して決定いたします。



●1株当たり配当額

2019年3月期期末配当 : 10円(普通配当)



2020年3月期期末配当 : 10円(普通配当)

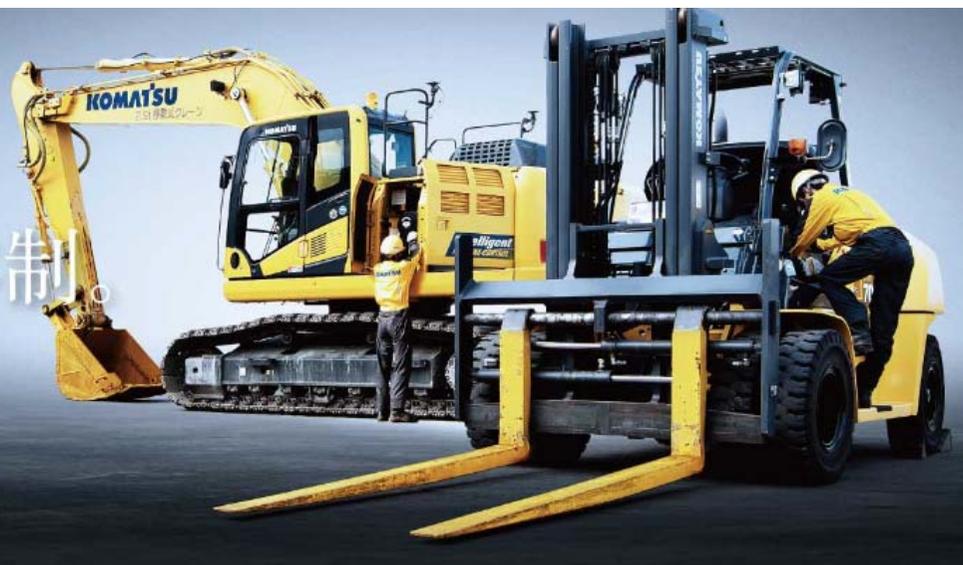
2020年6月開催予定定時株主総会にて決議予定

5.<トピックス> マーケットシェアの獲得

リフト事業へ進出

ご要望は何なりと。
万全の
サービス&サポート体制。

現場での安全作業、生産性向上など、
様々なニーズに応えます。



**2020年4月1日より、山梨地区でのリフト事業を
コマツカスタマーサポートから継承**

5.<トピックス> スマートコンストラクションの提案

災害復旧に対する活動の強化



(北信地域) 決壊による土砂流入 (家屋・田畑)



(東信地域) 河川災害 築堤・道路の損傷



【クイックスマコンでの実証実験】



PC128USi×8台レンタル受注

5.<トピックス> 海外展開の拡大

地域別戦略製品投入による市場拡大 20年度クローラクレーン 海外強化

1. 各地域別対応エンジン搭載機投入

- ① 欧州/豪州対応 (2機種)
- ② 新興国対応 (2機種)

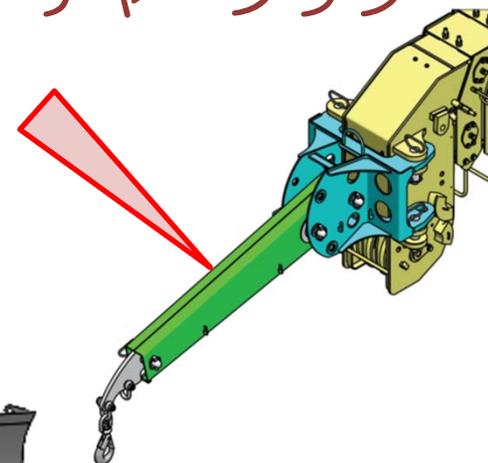


2. オプション品充実

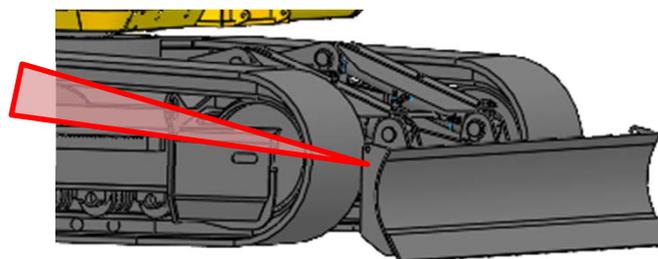
① ラジコン装置



② 2t吊サーチャーフック (3機種)



③ ブレード装置 (3機種)



5.<トピックス> 魅力ある製品の市場投入

8 t 吊りクローラクレーンCC1908S-1 発売

2020年3月
国内・欧州
同時発売



クレーン容量

8.1t × 2.8m

最大作業半径

19.23m

最大地上揚程

20.1m



新機能



マルチアシストビュー
機能付新型10.4インチ
タッチモニター搭載



4台のカメラで周囲の
安全をモニターで確認
可能



環境に優しい
欧州Stage V
適合エンジン
搭載

2019年度
15台出荷

5.<トピックス> 台風災害への対応

■ 長野県北部に甚大な被害をもたらした台風19号 被災地域に対する寄付活動



加藤長野市長（写真左）/塩入社長（同右）



岡田千曲市長（写真左）/塩入社長（同中央）/加藤専務（同右）

- ・長野市篠ノ井横田地区住民の皆様の緊急避難場所として
本社社屋を開放
- ・災害ボランティアにおいて当社ダンプトラックを提供

5.<トピックス> 働き方改革①

MAEDA NEW働き方改革宣言を發布し、社内外に会社方針を明示

MAEDA NEW 働き方改革宣言

制定 2019年10月1日

「社員の労働環境改善のため」 「会社の持続的な成長のため」
新たに3つの施策を宣言します

労働時間の削減を推進します

以前の宣言内容を踏襲します。目的は各自業務以外の有意義な時間の創出です。
そのため、社員全員で次の施策を具体的に実行してください。

- 1 業務のIT化・効率化をはかり、労働時間の短縮をしてください。
- 2 一つひとつの作業の効率をUPし、年次有給休暇の積極的な取得をしてください。
- 3 勤怠システムを有効に使い、まずは勤務実態を正確に把握し、次に時間外労働削減に向かい動いてください。

健康経営を推進します

みなさんの健康は自身の暮らしの基盤を支えるだけでなく、会社の基盤も支えます。
自らの健康を未永く維持するため、次の施策を実行してください。

- 1 社内全面禁煙に向け始動します。喫煙者は固く禁煙を志してください。
- 2 みなさんの運動を促進します。まずは歩くことから施策を開始します。
- 3 会社は人間ドック受診をサポートしています。進んで受診してください。

ダイバーシティを推進します

以前の宣言内容を踏襲し、さらに踏み込み多方面で多様性を推進します。

- 1 女性がより活躍できる職場環境を作り込んでください。
- 2 介護、育児等の規則を整備しました。自らの環境に応じ、無理のないワークライフバランスを実現してください。
- 3 多様性を認め合う職場環境作りのため、社員同士のコミュニケーションを推進してください。

株式会社 前田製作所
代表取締役 埴入正章

健康経営優良法人
Health and productivity

2020

認定証
(大規模法人部門)

法人名 **株式会社前田製作所**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2020 (大規模法人部門)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2020年3月2日

日本健康会議

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

健康経営を評価され、優良法人として認定される

5.<トピックス> 働き方改革②

女性活躍推進



「えるぼし」の取得

「えるぼし-認定段階3」
2019年7月認定

女性の登用や職域拡大、また、男女ともに働きやすい
職場環境づくり、が評価

職場環境整備



阿部長野県知事（写真中央）/塩入社長（同右端）

「長野県知事賞」
2019年12月受賞

6. 今後の見通し

■ 建設業界

- ▶ 人手不足、コスト増加、また地域による需要格差といった不安材料に加え、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況

■ 外部環境

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の抑制により世界経済減速懸念

先行き不透明な状況で推移

6.今後の見通し（2021年3月期業績予想）

業績予想につきましては、現段階で合理的な算定を行うことが困難なことから未定としております。

併せて、期末配当予想につきましても未定とさせていただきます。

開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

お問い合わせ先

株式会社前田製作所
管理部

TEL : 026-292-2222

FAX : 026-293-0370

E-mail : info@maesei.co.jp

本資料には、2020年5月21日現在の将来に関する見通し、および計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。
経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用ください。